

第5回伊那市誌編さん委員会議事録

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和3年10月1日(金) 14時00分～16時05分 |
| 場所 | 伊那市役所 502 会議室 |
| 出席者 | 編さん委員：9名 (欠席：4名) 事務局：教育長(途中退室)、教育次長、市誌編さん室長、担当 |
| 会議目的 | 各部会の会議報告、レイアウトの共有、概説編の項目案について協議するため。 |

【内容要旨(決定事項・検討事項等)】

- ① レイアウトについて検討し、共有を図った
- ② 概説編に関する意見は、再度委員会にて協議を行う
- ③ その他、意見や要望等について

【会議内容】(討議、意見交換等による決定事項・検討事項の詳細)

① レイアウトについて検討し、共有を図った

すでに執筆に入っている委員もいるため、暫定ではあるがレイアウトの共有を行った。今回共有したレイアウトについては下記の通りである。

- ・書籍サイズ：A4
- ・字 体：MS明朝体(本文)
- ・文字サイズ：11ポイント(本文)
- ・書字方向：※1
- ・段 組 み：※2
- ・構成、章立て：※3

※1 横書きを基本とするが、分野によっては変化する。各部会にて、検討を重ねていく。

※2 1段組みと2段組みの意見に分かれているが、組版を作り再度検討を行うこととなった。

※3 大きいものから順に、章・節・タイトル・見出しとする。

◎レイアウトに関する意見等

- ・自然編は、レイアウトや見出しをスムーズに組みやすい2段組みを希望する。
- ・2段組みは図版を組みやすく、見た時も非常に見やすく良いと思う。
- ・一緒に掲載する図版や資料など、中身によると思うのでどちらとも言えない。
- ・民俗に関わるものは縦書きが多く、民俗編に関しては縦書きが良いと思う。
- ・資料のように1段組みの『わたしたちのふるさと』がA判になると文字が見やすく良い。

② 概説編に関する意見は、再度委員会にて協議を行う

概説編の項目案について担当者からの説明を行い、これに対し下記2点の意見が挙げられた。今回は検討することができなかつたため、次回委員会で協議することとなった。

(1) 概説編の呼び方(名称)について

現在は、2冊ある概説編を「概説編1」「概説編2」としている。伊那市を鳥瞰する「概説編1」を「概説編」、伊那市の歴史を辿る「概説編2」を「通史編」とし、分かりやすくしたらどうかという意見であった。次回委員会にて、再度協議し決定する。

(2) 伊那市の歴史的・文化的な特質を市誌の基盤として据えるべきである

概説編の担当者に対し、伊那市の歴史的・文化的な特質をどのように捉えているかという質問が挙げられた。伊那市の歴史的・文化的な特質を全委員の共通理解とし、これを意識して作っていかなければテーマがぶれた市誌になるとの意見であった。統括会で協議し、次回委員会にて提示する。

③ その他、意見や要望等について

部会の会議報告や全体を通して挙げられた意見については下記の通りである。統括会や各部会で検討し、委員会にて共有または協議する必要がある。

- (1) 教育部会の議事録に、コラムの例として伊能忠敬(伊那市を訪れた有名人)が挙げられている。殿島橋の関係で菅江真澄など、その辺りを入れてはどうか。
- (2) 産業経済部会の議事録にある「鳥獣被害や松くい虫被害」については自然編ではなく産業経済編で取り上げた方がよい。
- (3) 江戸時代に活躍した人が今見直されていれば概説編2で扱う必要がある。人物の選定、また合わせてコラムの扱い方について各分野で検討してもらえるとよい。
- (4) 『上伊那の自然』の地質のページでは、ページ下に文献を記載している。メモのように記述できるスペースがあれば、文章の難しい言葉を補足できてよいのでは。
- (5) 要点を抑えた程度に見開きで1つの項ができるとよいと思う。あまり長くなるなら章立てをするなど、基本を作っておいた方がよいのでは。
- (6) 今後、統括会に各部会のチーフが加わる体制が必要となる。統括会と事務局でやり方を検討し、委員会で提示できるようにする。

【次回編さん委員会日程】

日時：令和3年12月20日(月)9時30分～

場所：伊那市役所内